



NPO法人CTF松阪 平成18年度通常総会を開催

5月13日(土)11時5分から、松阪市魚町まどみのやかた見庵において、NPO法人CTF松阪の平成18年度通常総会が開催されました。

あらかじめ表決を委任された方を含めて33名の正会員が出席し、伊藤義徳議長の議事進行により、平成17年度事業報告および平成17年度収支決算、平成18年度事業計画、平成18年度収支予算について審議を行い、いずれも原案どおり議決されました。

(右の写真は議案を審議する会員の皆様)



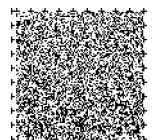
障害者自立支援法、制度変更の問題点

1. 一割負担の導入
2. 単位制の導入
3. 介護保険よりも低い介護報酬の設定
4. 従来为国庫補助基準よりも低い国庫負担基準の設定
5. 食費の自己負担の導入
6. 新介護保険法下における介護保険優先に基づくサービス提供の制限
7. 実質を伴わない不服審査基準
8. 柔軟化に事寄せた賞罰主義

これらの意味で、支援費制度は、2006年3月をもって終了し、新たな障害者自立支援法が4月1日からスタートしました。

*福祉を厳しくきりつめて、その反動を待ち、消費税をアップする材料に使われるのは耐えられないところがありますね。
(MW)

今月号は文字数が多いので、4ページにSPコードを2個付けてあります。4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





Ethereal (無料のパケットキャプチャソフト)のインストール

実際にネットワークに流れているパケットを見るには、パケットをキャプチャする専用のソフトが必要です。そのキャプチャソフトのことを「アナライザ」と呼びます。

それでは最も一般的な LAN アナライザである「Ethereal (イーサリアル)」という無料のソフトを使ってキャプチャしてみましょう。

まず、Ethereal の最新版 `ethereal-setup-0.99.0.exe` (12.4MB) を下記の URL からダウンロードしてください。

<http://www.ethereal.com/>

Ethereal を動作させるには WinPcap というパケットキャプチャ用のドライバが必要になりますので下記のサイトから WinPcap_3_1.exe (460KB) をダウンロードして下さい。

<http://winpcap.polito.it/>

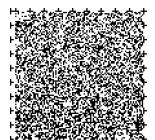
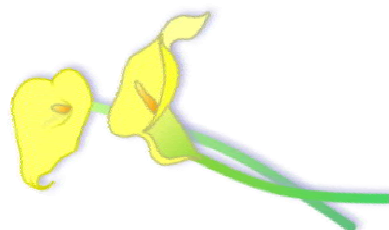
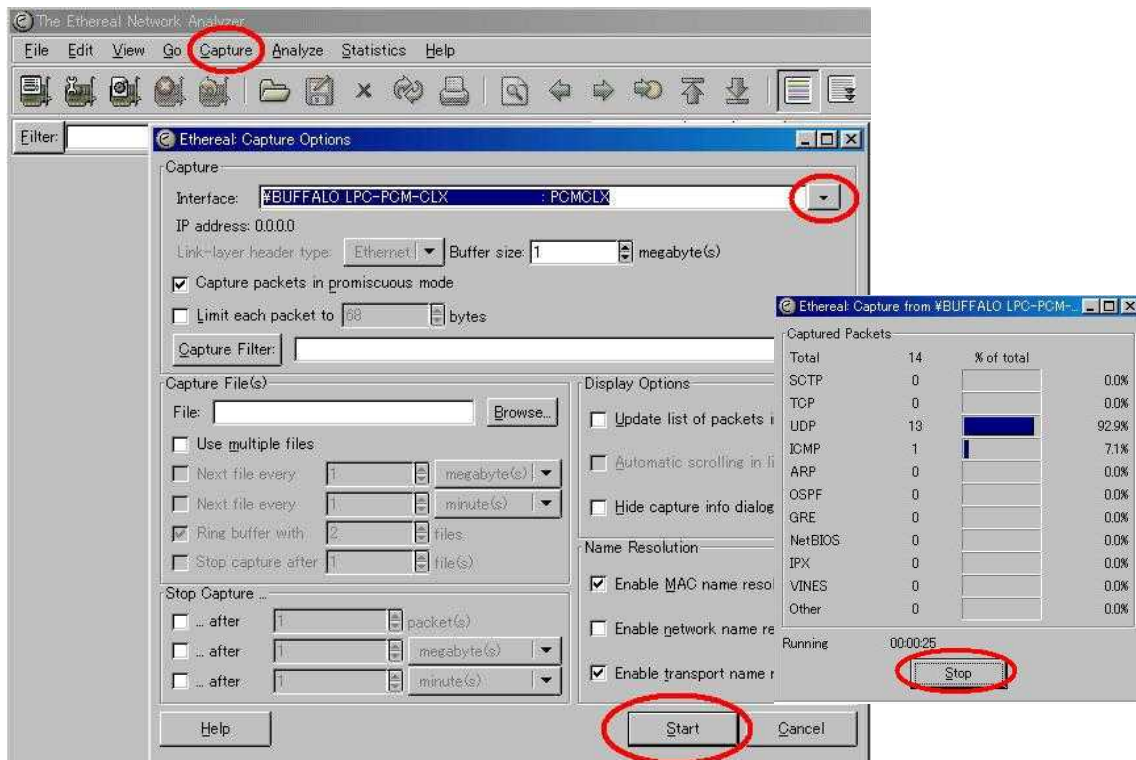
インストールは簡単で、どちらも実行形式になっていますから WinPcap の方から先にインストールしてください。成功するとデスクトップに Ethereal のアイコンが出来ていますからそれを起動して「Capture」

「Options」を選択すると「Capture Options」ウインドウが表示されます。(下図参照)

そこで「Interface」部分を現在使用している LAN カードに変更して「Start」ボタンを押します。続いて IE を起動して TOP 画面が表示されたら「Stop」ボタンを押してください。キャプチャした内容が表示されていれば成功です。

次号ではこの Ethereal を使って DHCP サーバーとのやりとりをキャプチャして見ます。

つづく



第 20 回理事会開催

5月13日(土)まどみのやかた見庵(松阪市魚町)において、理事5名が出席し、第20回理事会を開催しました。

内容は次のとおりです。



- 1.最近の活動状況の報告
- 2.今後の活動計画その他の審議(以下の事項を決定しました)
 - 障害者対象個人向けパソコン講座(定例)の開催について
 - 障害者対象パソコン応用講座および指導員レベルアップ研修開催について
 - 各種助成金の申請について
 - 会計担当者の交代について(会長から春多常理事が新しく会計として任命されました)

活動報告

【5月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(2日、9日、16日、23日)

ワーク会員スキルアップ研修会
(9日、16日、23日)

障害者宅訪問ITサポート
(1日、12日、21日、25日、31日)

『なごみ~ていんぐ』参加
(30日)

活動予定

【6月】

障害者対象個人向けパソコン講座
6日、13日、20日、27日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

ワーク会員スキルアップ研修会
6日、13日、20日、27日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



季節の花・アジサイ



あぢさゐの 八重咲くごとく 八つ代にを いませ我が背子 見つつ偲ばむ

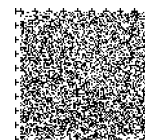
橘 諸 兄 (万葉集巻 20-4448)

アジサイが八重に咲くように八代も長生きしてください

花を見るたびにあなたを懐かしく思い出しよう

アジサイのアジは「集まる」の意、サイは「真藍(マサアイ)」のことで、青い花がかたまって咲く様子からこの名がつけられたと言われています。

この花は球状に見えることから「手毬花(テマリバナ)」、花の色がいろいろ変わるので「七変化(シチヘンゲ)」とも呼ばれています。



今月は、アマチュア無線局 JR2EJT の局長さんで、すぐれた電子機器工作の技術をお持ちのため、障害者の方が使いやすい入力装置などの製作・メンテナンスを引き受けてくださっている小林英二様からご投稿をいただきました。

春の山を満喫

小林 英二

お天気に恵まれた5月5日の祝日に、我々5人が2台の車で飯南町の奥の相津と言う所にある炭焼窯を見学してきました。この窯は「ほたる窯」と名付けられ、S氏の所有地に昨年暮から造られたものです。昔から山村の伝統産業として知られている炭焼き技術を伝承することを目的に造られたのです。

松阪から1時間ほどかかって着いたところは、山道を登って行く途中で左側はうす暗い程の杉林で、右側は10数メートル余りの幅の土地に木炭窯と竹炭窯がつくられており、その奥はきれいな清流の川がありました。木炭窯は密封されたままでしたが、竹炭窯からは薄い白っぽい煙が立ち昇っていて窯を管理してみえる方が時々温度をチェックされていました。寒い時季はさぞ大変だろうと思いました。

この窯の奥の清流の上流から300メートルのホースできれいな水が引かれ、洗ったり飲んだり出来る、風情あふれる良い場所でした。林は多いものの間伐で切られた木は道路の方に出すには費用がかかるので切り倒されたままで、放置されているのは寂しく感じました。

材木を出してきて切断し窯に詰め込むのが大変手間がかかるそうで、木炭の生産が進まない原因の一つになっているようです。いずれにしても生産技術を継承して行くことは過疎化と共に実感しましたが、あえてこれに挑戦されたS氏はじめ地元の有志の皆様には本当に敬服いたします。

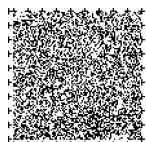
しばらく草花など見て周り、其の後に大勢で豪華なバーベキューで歓待していただき(鹿肉もいただきましたし、ほど木からもぎたての椎茸もおいしかったです。)春の日を満喫して、車中から山の新緑や藤の花など見物しながら帰途につきました。



編集後記

通常総会、雨の中出席ありがとうございました。雨のためか今年はお顔が見られない方もあり残念でしたが、一方、初めてお会いできた方もあり、嬉しく思いました。

総会終了後、昼食(松阪肉のお弁当)をいただきながら、リレー随筆に書かれております炭焼窯のお話を、全員興味深く聞かせていただきました。



CTF 通信第39号

2006年(平成18年)6月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川口保美
住所 〒515-0081 松阪市本町2181-1
電話 0598-21-7268
URL <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

